

# 住まいのオシャレい広場

末政建設株式会社 2019年8月 発行

第67号

## もくじ

1. 街角ウオッチング
2. F様邸新築工事アルバム
3. 次世代住宅ポイント制度
4. ・美しい姿勢と歩き方教室  
・ショールームに行きました



## お盆休みを終えて

一般にお盆とは8月の中旬、年に一度お浄土から生前過ごしていた地上に帰って来られるご先祖様の霊を供養する行事の事です。それに合わせ仕事を休みにする所が多いですね。

私は毎年お盆休みにお墓参りに行きます。そして今年も遠方にいる家族や親戚と久しぶりに会い、近況報告や昔の話に花を咲かせ、とても賑やかに過ごしリフレッシュできました。ご先祖様は皆が集まってくれる事が供養になるそうなので、きっと安心して帰られた事と思います。

皆さんも楽しい思い出を作ったり体を休めたりしてリフレッシュされた事でしょうね。あとしばらくの夏を乗り切れるよう、食欲を落とさず、がんばりましょう！(hiroe)



## 街角ウオッチング



## 末政ドンドパーク 完成！



弊社がある坂井市丸岡町末政地区に、九頭竜川下流域国営パイプラインの農業用水を活用したビオトープ「末政ドンドパーク」が3月に完成しました。約300㎡の場所に、延長20mの水路やミニ水田を作り、人が寛げる屋根付の休憩所（あずまや）も設置されています。名称の由来は、昔この付近に流れていた川の分水地点がどんと深く子供達の水遊び場になっていて、その呼び名が「どんど」だったからだそうです。

これは県と九頭竜川鳴鹿土地改良区が「生き物が生存しやすい環境を作ろう」と昨年度から企画し、設計、造成を下しました。また末政環境保全協議会が主体となって、工事の説明会を開いたり、区民参加による水路の石積みや植栽を行いました。

4月27日には、工事関係者や新聞社、地元の区民や子供達が40人位参加して、完成イベントが開催されました。子供達はハナエチゼンの苗植えをしたり、ドジョウやホタルの幼虫が餌にするカワニナなどを放流しました。最近では区民が育てていた鯉やメダカなども放流し、元気に泳いでいます。散歩コースになっている他の地区の方や、学校帰りの学生さん達も立ち寄って寛いでいます。今後の管理を行う末政環境保全協議会は、「多くの地域の方が賑わい寛げる場所になって、昔のように虫がたくさん飛び交うようなビオトープにしたい」と意気込んでいます。また8月下旬には、稲刈りやBBQを行うようです。

用水路のパイプライン化により転落事故の減少や、ゴミや排水の流入がなくなり農家の水管理も軽減されたと聞いています。今後も豊かな自然あふれる場所が多くなるといいですね。

